

問う

令和4年9月20日、21日、22日に開会した本会議で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して5名の議員が代表質問を、各会派の5名の議員が一般質問を行いました。以下、その要旨を掲載します。

なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧いただけます。※会議規則第59条第4項の規定により、かねだ正議員は議事堂での質問は行わず、質問通告書に対する回答は文書で受理しました。

足立区議会自由民主党

現実的な政策で「もっと好きになれる足立区」へ

自由民主党 長澤 こうすけ 議員

基金を活用し物価高騰対策を

【問】円安も相まって、今後も物価高騰が続くと予測される。区民生活や事業者の状況を把握するとともに、基金を積極的に活用し区民生活、区内経済への支援を迅速に実施すべきと考えますが、具体的な対策を伺う。

【政策経営】介護施設や保育施設等へのアンケート調査で実態を把握し、区独自で光熱水費等に対する補助を実施する。また、本年10月1日より、物価高騰対策として就学援助認定基準を生活保護基準の1.2倍に緩和する等、総額約4億円の補正予算案を本定例会に提出した。今後も影響の大きい分野には基金を積極的に活用し、スピード感をもって対策を講じていく。

【問】世論調査の結果から、防犯カメラは体感治安の向上に貢献すると考えられる。防犯カメラ設置数は着実に増えているが、継続的に増設すべきである。今後の設置方針と計画を伺う。

【危機管理】現在、区内には約2千台の防犯カメラが稼働中である。1㎞あたりの設置数が23区平均程度となる3千台を目標に年間300台ずつ増設し、令和7年度の達成を目指していく。

【防災都市まちづくりを推進せよ】都の地震に関する地域危険度測定調査結果によると、総合危険度のランク5に区内16町丁目が入っている。この調査結果に対する見解と今後の計画策定スケジュールを伺う。

【建築】総合危険度がランク5となった中川二丁目と日ノ出町は、老朽建築物の解体費等を助成する不燃化特区の区域外であったため、どのような事業を導入すべきか計画策定のスケジュールを含め検討していく。

また、火災危険度が都内1位の柳原地区は、密集市街地整備事業の導入を検討しており、速やかに計画を策定できるように取り組んでいく。



開始時間の前倒しを行う。

②区立公園の樹木を大きく育てるとともに、利用者の多い公園を優先してパーゴラの設置を進め、日陰の確保に努める。



欠席連絡をデジタル化せよ

【問】児童・生徒の欠席連絡の方法について、教員と保護者の負担を減らし、素早い連絡を取るためにも欠席連絡の運用システムを区内外全小・中学校に導入すべきではないか。

【教育指導】令和5年度から学校メール配信システムを更新し、欠席連絡機能を校務支援システムに連携させる。暫定的な方法として、Googleフォームの活用を進めている。

自由民主党

渡辺 ひであき 議員

足立区民の生命と財産を守る災害対策について問う。



より良い足立区地域防災計画構築のための指摘と提案を行う

【問】防災対策は、区民一人ひとりによる自助の取り組みが重要であるため、区は様々な媒体を通して防災意識啓発を行っている。特に近年、日本各地で水害が多発し、区民に自助の大切さは浸透してきていると考える。①今後、区民に対しさらなる自助の具体について示すべきと考えるがどうか。

②避難所運営訓練は避難所ごとにメニューが異なっているが、想定しうるあらゆる場面の訓練を行うべきと考えるがどうか。

【総合防災】①災害からより多くの生命や財産を守るためには「自らの生命は自らが守る」と

テムを区内全小・中学校に導入すべきではないか。

【問】物価高騰で子育て世帯の家計負担は増している。利用者の施設の選択肢を増やすためにも、私立幼稚園の給食費無償化を早急に行うべきではないか。

【子ども】給食費を補助している保育施設とのバランスを踏まえ、令和5年度からの実施に向け検討していく。

西新井大師を中心とした魅力あるまちづくりを

【問】区最大の観光資源である西新井大師周辺は、歴史ある店舗が閉店し活力を失いつつある。①川越は城下町としての風情を残しつつ新しさも取り入れ、まち全体が活気に満ち溢れている。西新井大師周辺においても区が全面的に協力し、川越のようなまちづくりをしてはどうか。

自由民主党

かねだ 正 議員

【問】区最大の観光資源である西新井大師周辺は、歴史ある店舗が閉店し活力を失いつつある。①川越は城下町としての風情を残しつつ新しさも取り入れ、まち全体が活気に満ち溢れている。西新井大師周辺においても区が全面的に協力し、川越のようなまちづくりをしてはどうか。

②西新井大師では様々なイベントが実施され、区の観光に大きく貢献してきた。地域経済活性化のために、地域と連携しイベントの支援をすべきではないか。

【都市建設】①門前周辺では、西新井大師の風格と和風のまち並みを活かした良好な景観を保全・継承する。その他のエリアでは、特別景観形成地区全体が歴史と文化を感じられる活気に満ち溢れたまちづくりを目指す。

【産業経済】②イベント再開が地域経済活性化につながると考

子どもたちは学校にいる時間が2割弱、8割強を自宅等で過ごします。各家庭でも様々な状況を想定して、災害に備える心と知恵を共有してください」と記され、すばらしい内容と感じた。このような区の防災教育について、区民に周知するべきと思うがどうか。

【総合防災】「語り継ぐこと」の内容は、様々な状況を想定して災害に備えるために、とても大切である。多くの区民に防災意識を高めてもらうため、教育委員会と連携するとともに、このような防災教育の取り組みについて、防災講演会等で広く区民に周知していく。



【問】放課後子ども教室の運営支援は生涯学習振興公社が担っているが、年々職員が減っており、今後の活動が心配される。放課後子ども教室の現在の運営と今後の役割について伺う。



【学校運営】現在はボランティアによる見守り活動と公社の支援により、安全・安心な放課後の居場所の提供と安定的な実施

【学校運営】現在はボランティアによる見守り活動と公社の支援により、安全・安心な放課後の居場所の提供と安定的な実施